

平成 29 年度 総合教育会議資料

- 1) 教育大綱（教育振興基本計画）の見直しについて
- 2) 教職員の働き方改革について
- 3) 小中一貫の英語教育について
- 4) 七塚小学校長寿命化改修について

教育委員会の点検及び評価報告書（平成 26 年度～）抜粋

かほく市教育振興基本計画（計画期間：平成 26 年度～平成 35 年度）に基づく「基本的方向」に示した「具体的な取組」の 84 項目の平成 28 年度末までの達成状況は

- A： 計画（最終）目標を達成している・・・ 26 項目（31%）
- B： 計画どおり進んでいる・・・ 58 項目（69%）
- C： 計画より遅れている・・・ 0 項目（0%）
- D： 具体的な取組がなされていない・・・ 0 項目（0%）

◇平成 26 年度（新たな施策・拡充した施策の一部を抜粋）

- ・ 小学校 3 年生の学力調査を追加（小学 3 年生～中学 3 年生の学習状況を把握し指導改善）
- ・ 35 人以下学級を小学校 6 年生まで拡大
- ・ 「学校経営戦略プラン事業補助金」を創設し、市内学校長の戦略的な学校経営活動を支援
- ・ 「かほく市いじめ防止基本方針」を策定
- ・ 高松公民館の対象区域で「社会教育活動連絡員」を選出 ⇒ 第 1 回市民交流大会（ペタンク大会）の開催
- ・ 石川県西田幾多郎記念哲学館の展示室のリニューアル工事
- ・ 石川県西田幾多郎記念哲学館での関東圏（東京）への情報発信
- ・ 高松グラウンド・ゴルフ場に「日本海コース」を増設
- ・ 小学生体育大会の開催

◇平成27年度（新たな施策・拡充した施策の一部を抜粋）

- ・ Q U調査の実施
- ・ 金津小学校の大規模改造事業に着手（～平成28年度）
- ・ 西田幾多郎記念哲学館として没後70年記念事業を実施
- ・ ドイツメスキルヒ市との姉妹都市提携30周年記念式典・市民交流音楽会を開催

◇平成28年度（新たな施策・拡充した施策の一部を抜粋）

- ・ 高松小、大海小、宇ノ気小、高松中の普通教室のエアコン整備工事に着手（～平成29年度）
- ・ 七塚小、外日角小の耐力度調査・老朽化状況調査を実施
- ・ 外日角小の長寿命化改修の基本設計に着手（～平成29年度）
- ・ 全小中学校でコミュニティ・スクールをスタート
⇒「学校経営戦略プラン事業」から「コミュニティ・スクールプラン活動補助金」に改変
- ・ 西田幾多郎記念哲学館調査研究棟の整備に着手（～平成29年度）

◇平成29年度（新たな施策・拡充した施策の一部を抜粋）

- ・ 小学校外国語教育の教科化の移行に向け、民間A L Tをモデル校の宇ノ気小に配置
- ・ 七塚小長寿命化改修の基本設計に着手
- ・ 特別支援教育支援員を増員
- ・ 就学援助制度の改正による入学準備費の早期支給と支給額の見直し
- ・ 哲学の杜ライトアップに伴う西田幾多郎記念哲学館の開館時間の延長

平成25年10月に策定した「かほく市教育振興基本計画」(H26～H35)が、平成30年度には中間年にあたることから、見直しすることとします。

1. 社会動向の変化

■ 人口減少時代の到来

少子化に伴う人口減少が進行しており、今後も減少が続くと予測

⇒ 「かほく市創生総合戦略推進計画」平成27年10月策定

■ 高齢化の進展

高齢者人口が今後も引き続き増加していくと予測

⇒ 高齢者の健康づくり

■ IoT・ビックデータ・人工知能時代の到来

IoTやビックデータ、AI、ロボットなどに代表される第4次産業革命が世界的に進展

⇒ プログラミング教育(プログラミング的思考)

■ 社会全体のICT化の加速

スマートフォンやタブレット端末など急速な普及は、ライフスタイル・ワークスタイルに変化

⇒ ICT教育の推進

■ グローバル化の進展

東京オリンピック・パラリンピックの開催決定などが契機となり、グローバル化が急速に進展

⇒ 国際交流・外国語活動

■ 地域のつながりの希薄化

家族形態、価値観、ライフスタイルの多様化を背景に人と人とのつながりの希薄化が進行

⇒ コミュニティ・スクール

■ 防災・安全に対する意識の高まり

東日本大震災をはじめ、近年は台風や豪雨などの自然災害が多発し、防災意識の高揚

⇒ 施設整備・防災教育

2. 教育を取り巻く状況の変化

■ 次期学習指導要領

知識の習得だけでなく、主体的に課題を発見し解決に導く力など学力観の転換が求められている

■ 幼児教育に対する認識の高まり

国による幼児教育の無償化とともに、質の向上が求められている

■ 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加

特別な教育的支援を必要とする児童生徒の適切な指導・支援が求められている

■ 学校現場における課題の複雑化・多様化 ⇒ 教職員の多忙化

教職員だけでは対応しきれない事案が増加し、組織的な対応が求められている

■ 家庭教育支援の必要性

社会全体で家庭教育を支援していくことが求められている

■ 地域の教育力の低下

子どもたちを健全に育成していく上で、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことが求められている

3. 計画の名称

(仮) 第2期かほく市教育振興基本計画 (かほく市教育大綱)

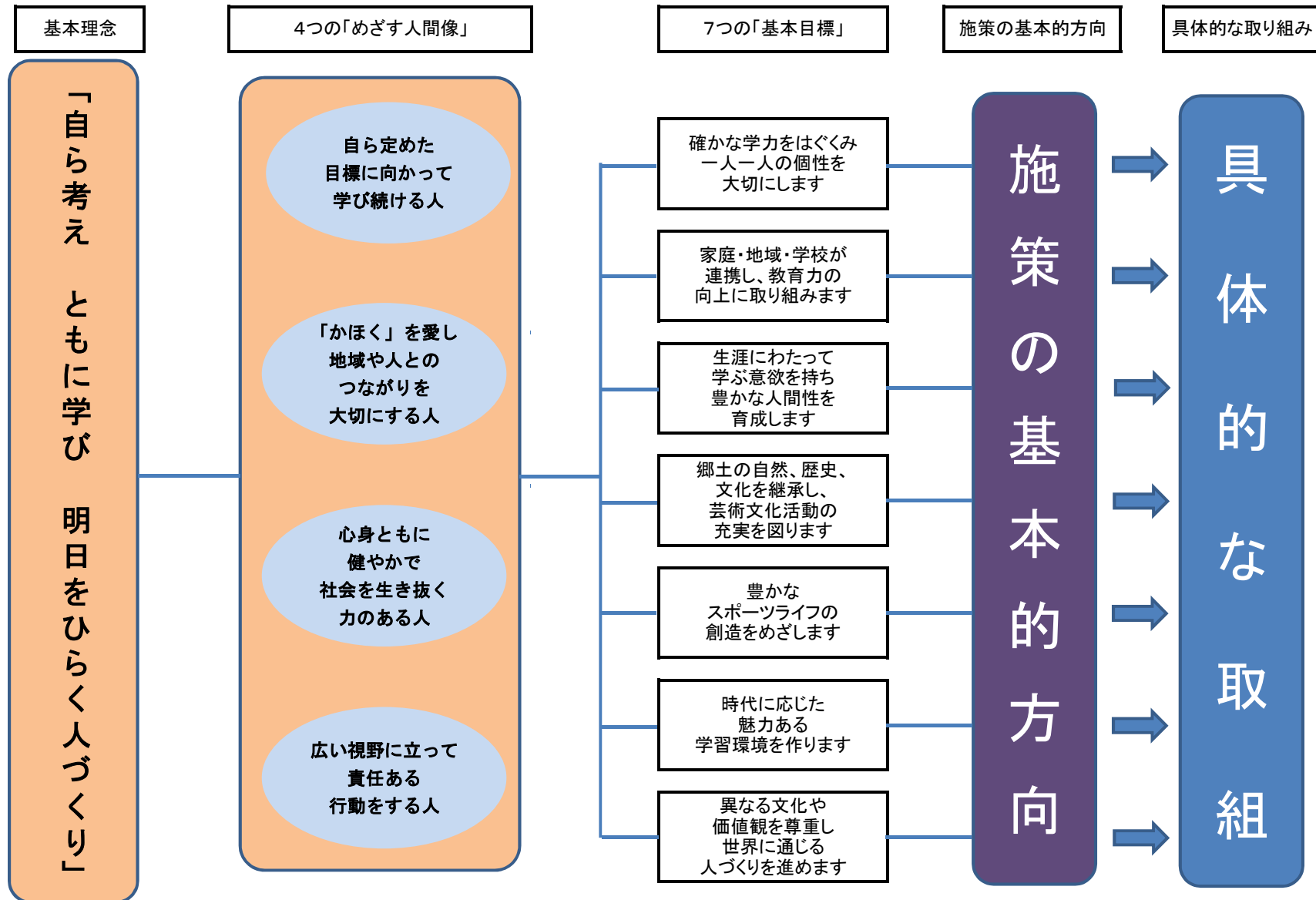
4. 計画の期間

平成31年度から平成35年度までの5年間

5. 見直しのスケジュール

平成30年	1月	総合教育会議において、議題として提出 (市長と教育委員との意見交換)
	3月～ 5月	平成29年度の事務事業の点検・評価・課題整理
	6月～ 7月	社会教育委員・校長会等の意見集約
	7月～10月	教育委員会議で審議
	11月	策定 (総合教育会議の開催)
	12月	市議会 (全員協議会) 報告

(現行)かほく市教育大綱(教育振興基本計画)の体系



教職員の働き方改革について

平成29年度 かほく市立学校教職員時間外勤務時間の状況調査(小学校)

校種	月		対象 教員数	A. 時間外勤務時間の度数分布(人)					B. 時間外勤務時間が 月100時間超の者の 主な理由(人)		
				0~45時間	~60時間	~80時間	~100時間	100時間超	①教材研究等	②校務分掌等	③部活動
小学校	4	月	119	25	24	27	23	20	4	16	
	5	月	118	29	21	31	26	11	5	6	
	6	月	118	19	28	25	28	18	9	9	
	7	月	118	55	31	20	7	5	1	4	
	8	月	118	115	1	1	1	0	0	0	
	9	月	117	41	30	25	16	5	1	4	
	10	月	116	30	21	28	21	16	6	10	
	11	月	116	40	28	27	14	7	3	4	

平成29年度 かほく市立学校教職員時間外勤務時間の状況調査(中学校)

校種	月		対象 教員数	A. 時間外勤務時間の度数分布(人)					B. 時間外勤務時間が 月100時間超の者の 主な理由(人)		
				0～45時間	～60時間	～80時間	～100時間	100時間超	①教材研究等	②校務分掌等	③部活動
中学校	4	月	72	9	8	7	11	37	2	20	15
	5	月	73	6	9	6	8	44	5	14	25
	6	月	73	7	8	3	10	45	5	15	25
	7	月	74	13	6	9	11	35	3	8	24
	8	月	71	41	8	11	9	2	0	0	2
	9	月	73	9	5	10	7	42	3	13	26
	10	月	73	13	2	8	12	38	6	8	24
	11	月	73	13	3	11	17	29	5	6	18

文部科学省「中央教育審議会」の緊急提言（抜粋）

1. 校長及び教育委員会は学校において「勤務時間」を意識した働き方を進めること

- ① ICTやタイムカードなど勤務時間を客観的に把握し、集計するシステムが直ちに構築されるよう努めること。
- ② 学校の諸会議や部活動について、勤務時間を考慮した時間設定を行うこと。
- ③ 教職員の時間外における保護者や外部からの問い合わせなど、緊急時の連絡に支障がないよう、留守番電話などの体制整備のための支援を講じること。
- ④ 部活動の適切な運営について、教員の負担軽減や生徒の発達を踏まえた適切な指導体制の充実に向け、休養日を含めた適切な活動時間の設定を行うこと。
- ⑤ 長期休暇期間においては、一定期間の学校閉庁日の設定を行うこと。

2. 全ての教育関係者が学校・教職員の業務改善の取組を強く推進していくこと

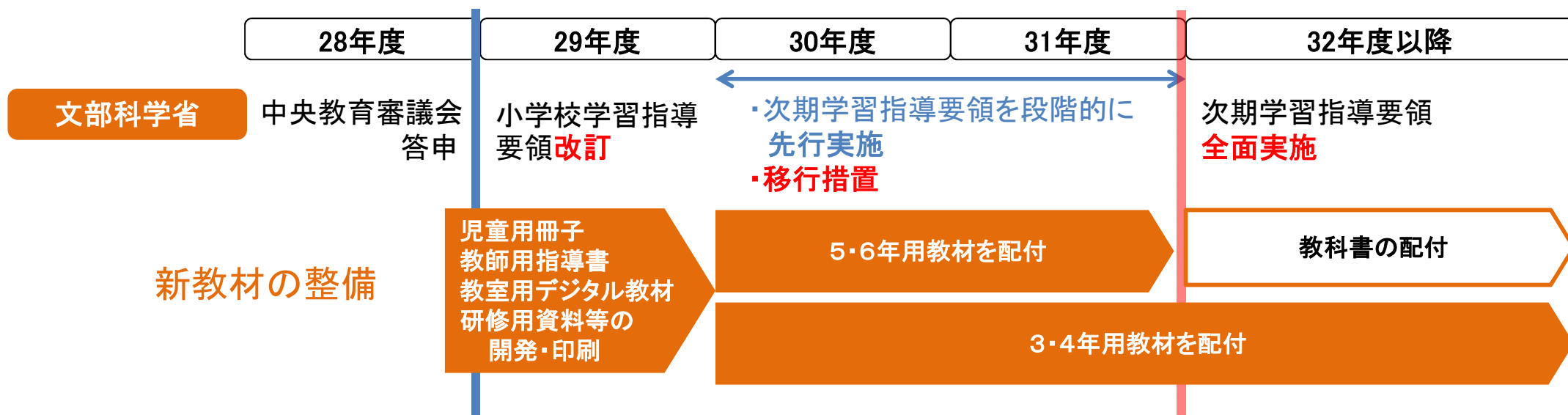
- ① 統合型校務支援システムの導入促進を図ること。
- ② 給食費をはじめとする学校徴収金について、教員の業務としないよう改善に努めること。

3. 国として持続可能な勤務環境整備のための支援を充実させること

- ① 学校・教職員の勤務時間管理及び業務改善の促進
 - ・統合型校務支援システムの導入促進
 - ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を通じた支援の充実
- ② 「チームとしての学校」の実現に向けた専門スタッフの配置促進
 - ・教員の事務作業をサポートするスタッフ
 - ・部活動指導員の配置促進
 - ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー
- ③ 学校の指導・運営体制の効果的な強化・充実
 - ・教員1人あたりの担当授業時数の軽減
 - ・小学校における専科教員の充実
 - ・中学校における生徒指導担当教員の充実

かほく市での小中一貫の外国語(英語)教育について

～学習指導要領改訂に伴う外国語教育の早期化・教科化 実施スケジュール～



学習指導要領改訂のポイント

【小学校高学年:教科型】

- 外国語のすべての領域においてバランスよく育む教科型の外国語教育を導入
- 授業時数 小学5・6年 現行 外国語活動(35単位)
⇒ 改訂 外国語(年間70単位) ⇒ 教科化に伴う学習評価

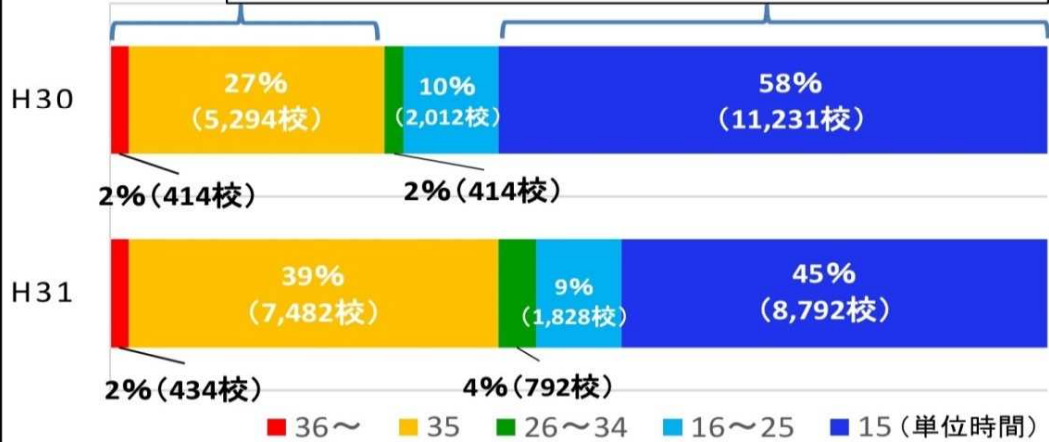
【小学校中学年:活動型】

- 「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を実施
- 授業時数 小学3・4年 現行 なし
⇒ 改訂 外国語活動(年間35単位)

移行期間中の授業時数の見込み調査結果（平成29年9月現在）

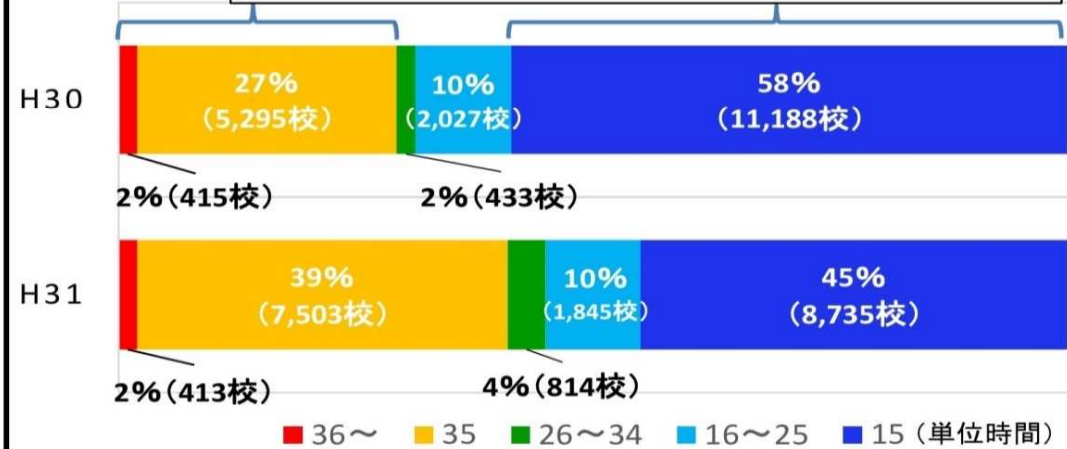
第3学年

29%の小学校が35時間（全面実施同様）以上を実施
58%の小学校が15時間（移行措置分）のみを実施



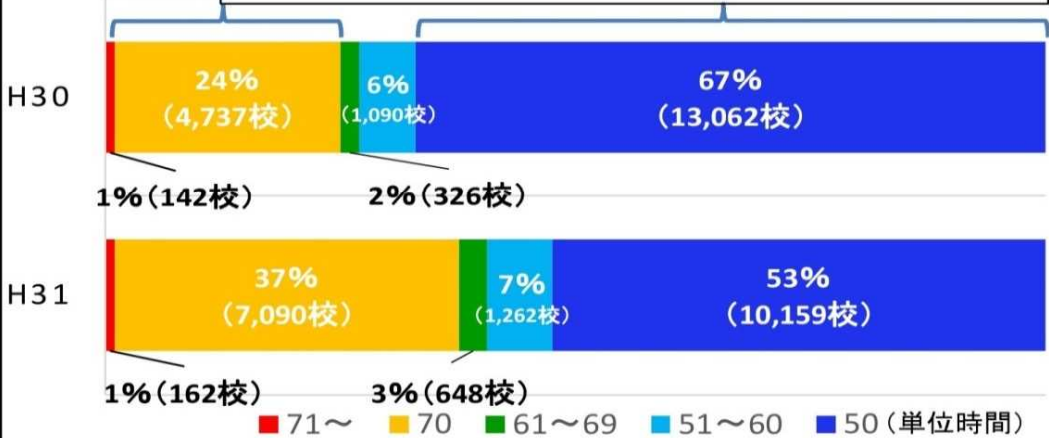
第4学年

29%の小学校が35時間（全面実施同様）以上を実施
58%の小学校が15時間（移行措置分）のみを実施



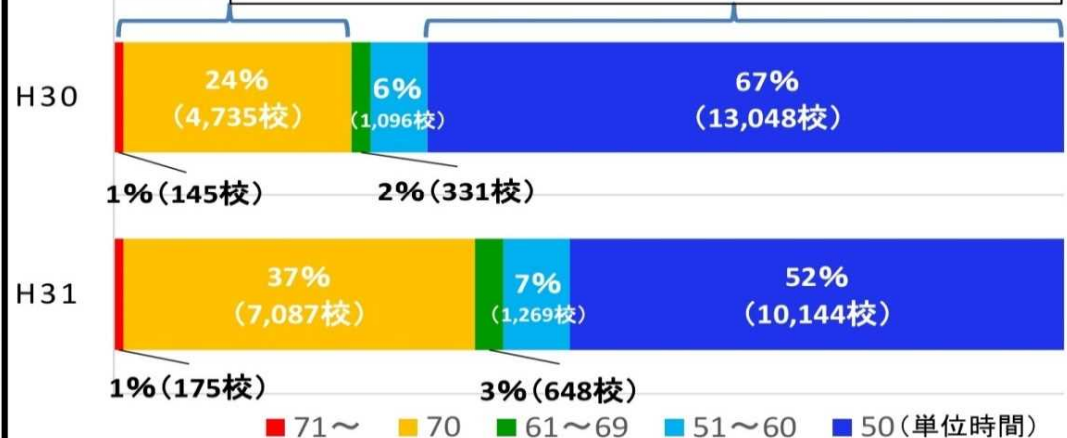
第5学年

25%の小学校が70時間（全面実施同様）以上を実施
67%の小学校が50時間（移行措置分）のみを実施



第6学年

25%の小学校が70時間（全面実施同様）以上を実施
67%の小学校が50時間（移行措置分）のみを実施



特色ある教育体制の充実

～かほく市での小中一貫の外国語(英語)教育の取組(案)について～

かほく市の現状

●外国語指導助手 (ALT)

各中学校を拠点としALTを配置し、小中学校でT・T授業を実施

○ALT①	高松中学校	2.5日	高松小学校	2.0日	大海小学校	0.5日 (午前)
○ALT②	河北台中学校	3.0日	外日角小学校	2.0日		
○ALT③	宇ノ気中学校	3.0日	七塚小学校	1.5日	金津小学校	0.5日 (午前)
○民間ALT①	宇ノ気小学校	5.0日 (モデル校配置 H29年度～)				

●小学校での授業時数

学 年	1・2年生	3・4年生	5・6年生
授業時数(年間)	10時間程度	10～15時間	35時間

外国語教育の教科化先行実施に向けたかほく市の取組

平成30年度

●先行実施での小学校の授業時数【本実施(平成32年度)と同様に実施】

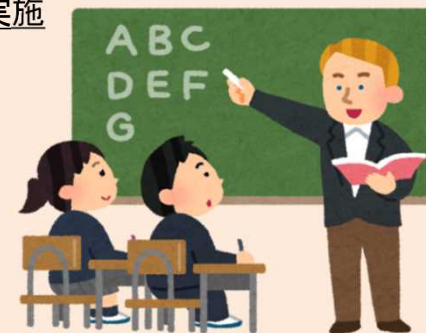
学 年	1・2年生	3・4年生	5・6年生
授業時数(年間)	10時間程度	35時間	70時間

- ・ (新) 日本人英語指導助手 (JTE) を3名程度小学校に配置し、3年生以上でT・T授業を実施
- ・ (継) 民間ALTを1名引き続き配置 (宇ノ気小学校)
- ・ (拡) ALT (3名) を中学校に専任配置 (高松中学校・河北台中学校・宇ノ気中学校)

●日本人英語指導助手 (JTE) 配置 (案)

○JTE①	高松小学校	4日	(週あたり14単位時間)
○JTE②	大海小学校	2日	(週あたり6単位時間)
○JTE③	七塚小学校	2～3日	(週あたり10単位時間)
○JTE④	外日角小学校	3日	(週あたり12単位時間)
○JTE⑤	金津小学校	2日	(週あたり6単位時間)

※JTE②～④は2校受け持ち可能



かほく市立小中学校の外国語(英語)教育指導体制

市内小中学校

外日角小学校

七塚小学校

高松小学校

宇ノ気小学校

高松中学校

河北台中学校

宇ノ気中学校

金津小学校

大海小学校

連携

日本人英語指導助手(JTE)
3名程度配置

民間ALT

既存ALT(JET)各校1名配置

小中学校の授業交流・連携

内容

・小中連携授業交流の実施

各中学校区での授業交流を通して、児童理解・生徒理解を深めるとともに、英語教育にかかる小中学校の円滑な接続について、授業研究、取組の連携を図る。

教職員等の指導力向上研修の実施

内容

・校内研修の充実

・英語に親しむ環境づくり

給食時に英語の歌の放送、英訳のついた教室掲示など各校の教員や児童生徒の創意工夫を生かした取組を通して、自然に英語を聞いたり、話したりする環境づくりを進める。

・ALT、JTE等の研修

連携

教育委員会・教育センター

今後の検討事項

- ・「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を測るGTECなど検定試験の実施にむけた検討
- ・小学校と中学校との英語教育の連携・接続強化

七塚小学校長寿命化改修について

のと里山海道

← 至 金沢

至 羽咋 →

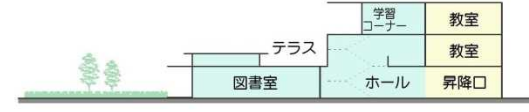
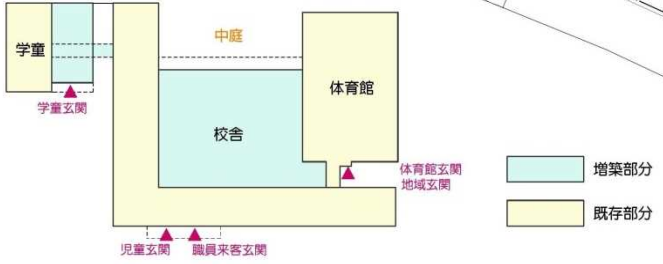


面積 単位: m² (坪)

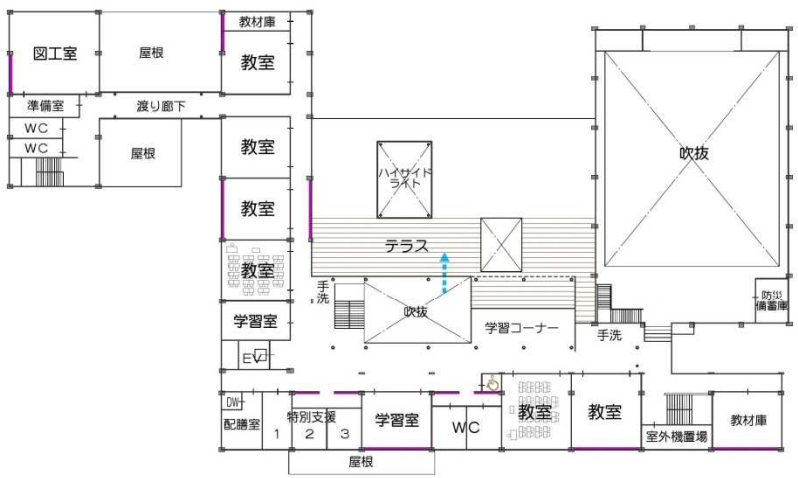
階	増築	既存改修
3階	364 (110)	1346 (407)
2階	323 (98)	1592 (482)
1階	1156 (350)	2208 (668)
合計	1843 (558)	5146 (1557)
駐車台数	74 台	

※学童部分(上記面積に含む)
増築: 190m² 改修: 233m²

- 耐震ブレース(既設)
- - - - 動線
- - - - 眺望

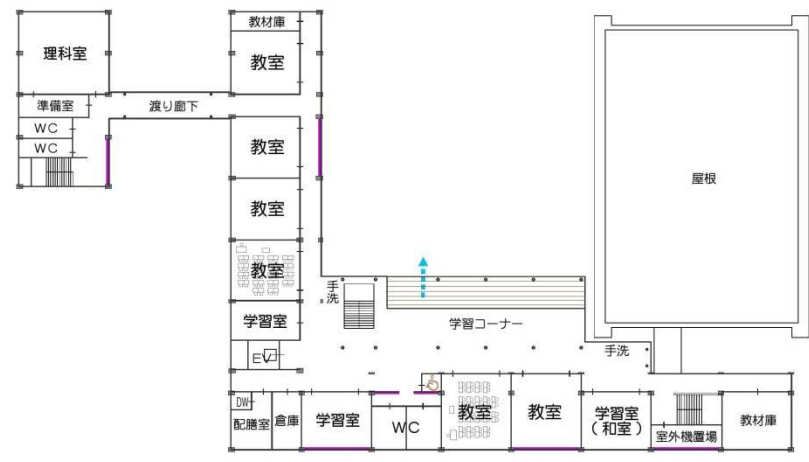


2階平面図



教室：1～3年

3階平面図



教室：4～6年

七塚小学校長寿命化改修(完成予想) 正面より



のと里山海道側より

